

「火の用心だより」

第112号(令和6年7月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

小さな火種が大きな火災に



○令和6年1月1日～6月30日までの期間で、札幌市内では**25件**のたばこ火災が発生しており、お亡くなりになった方や負傷する方も発生しています。

○たばこによる火災のほとんどは、「吸いながら沢山入った灰皿を使用して
いる」「吸いかけのまま灰皿に置き忘れる」など不適切な取扱いや不注意によるものです。

○綿製の座布団や布団の上にたばこの火種が落ちると、「**無炎燃焼**」と呼ばれる、炎が無い状態でくすぶり続ける現象が発生し、空気が流れ込むなどの環境の変化によって一気に燃え広がる危険性があります。

喫煙の際は、周囲の環境にも十分注意しましょう。



大量のたばこの吸いから



溜まっていた吸いからが原因で火災化した事例

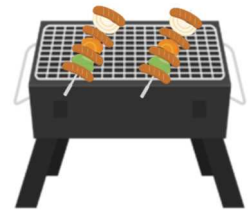
たばこ火災を防ぐために

- ①吸いからは、水につけるなど完全に消えたことを確認したあとに廃棄する。
- ②灰皿内に吸いからは溜めず、こまめに清掃する。
- ③火のついたたばこを灰皿内に置いたまま、その場を離れない。
- ④寝たばこは絶対にしない。



バーベキューは安全に行いましょう！

これから夏本番！キャンプ場や自宅などで、バーベキューを行う方も多いのではないのでしょうか？ちょっとした不注意によって、楽しいバーベキューが悲しい事故につながることもあります。以下の点に注意して、楽しくバーベキューを行いましょう！



●バーベキューの注意点●

- ① 火の粉が飛んで周りの物に燃えうつる危険性があるため、風向きに注意する。
- ② バーベキューこんろに点火後は、着火剤の「継ぎ足し」は絶対に行わない。
- ③ こんろの付近には消火用の水を用意しておく。
- ④ 使い終わった木炭は、水バケツに浸すなどして、完全に消火したことを確認する。



絶対ダメ！

【消毒用アルコールの危険性】



スマートフォンをお持ちの方は
こちらをチェック！

消毒用アルコールは火おこしのために使用しないで！

消毒用のアルコールや除菌スプレーなどは、揮発性が高く引火しやすいため、火おこしに使用すると大変危険です。また、アルコールの炎は青白いため、晴天時などは炎が見えにくくなります。気づかないうちに、衣服に燃え移っている場合もありますので注意しましょう。



「バーベキューこんろのそばに置かない」、「バーベキューこんろの近くで手指消毒を行わない」、「手指消毒後、すぐに火のそばに近づかない」を徹底しましょう。

衣服に燃え移ってしまったら ストップ、ドロップ&ロール！

自分が着ている衣服に火が燃え移ってしまった時には、慌てて走っては絶対にいけない。走ることで、かえって火の勢いが大きくなります。

消火する手段がない場合は、その場に止まり(ストップ)、倒れて(ドロップ)燃えている部分を地面に押し付けて転がり(ロール)を行って消火しましょう！



市民が主役の火災予防

- | | | |
|-------------------------|---------------------|--------------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しましょう | ④ 防災品を使用しましょう | 発行:札幌市消防局予防部予防課 |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう | ⑤ 放火されない環境を作りましょう | 〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目 |
| ③ 消火器などの防災機器を備えましょう | ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう | ☎011-215-2040 |

SAPPORO

